

はじめに

私は、ふるさと弘前を愛し、誇りとしています。

そして、先人が築いてくれたこの故郷を発展させ、次世代の子ども達に引き継ぐことが、私達の世代の使命だと考えています。

一方で、市民の皆さんからは、「安心して子どもが産めない、育てられない」、「医療や福祉に不安がある」などといった声があり、安心して子どもを産み、元気に育てることができる環境づくりが求められています。



子ども達の笑顔は、その地域の活力や誇りをうつす鏡です。

子ども達は、いつの時代にあっても、そのまちの将来を担う宝です。

私は、「子ども達の笑顔あふれる弘前づくり」を目標として掲げ、平成 22 年 10 月には、マニフェストに掲げた政策を迅速かつ着実に実行するため、「弘前市アクションプラン 2010」を策定し、各種施策の展開を図ってまいりました。

しかし、市を取り巻く経済・雇用情勢は依然として厳しい状態が続いており、さらに、東日本大震災の影響や、急激な少子高齢化社会の進行などが、今の私たちの暮らしと未来に大きな不安を与えています。

また、人口減少の問題も避けて通ることのできない問題となっており、今後は合計特殊出生率の向上も、弘前市の大きな課題となります。

こうした中、私は、ふるさと弘前を子ども達の笑い声が響き渡り、みんなが笑顔で楽しく過ごせるようなまちにしたい。そのためには、安心して子どもを産み、元気に育てることができる環境づくりを推進し、子ども達の笑顔をなんとしても守っていかねばならないと、強い思いを抱いているところです。

「Smile 弘前子育てマスタープラン」は、こういった私の思いを形にしたプランです。

本プランは、少子化社会対策基本法第 7 条の規定に基づく「子ども・子育てビジョン」と、子ども・若者育成支援推進法第 8 条第 1 項の規定に基づく「子ども・若者ビジョン」の基本的な考え方を踏襲しつつも、現在の弘前市の子育て支援に係る課題や実情に沿った、弘前ならではのプランとすることを念頭に、弘前市における子どもに関する施策の基本的な指針と位置づけ、策定いたしました。

今後は、このプランに基づき、子どもとそのお父さん・お母さんをはじめ、これから家庭を築こうとする若者を、地域全体で、全力を挙げて応援してまいります。

最後になりましたが、本プランの策定にあたり、アンケート調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまをはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました「弘前市子ども・子育て支援推進協議会」の委員の皆さま、関係機関・関係団体の皆さま方に、心よりお礼申し上げます。

平成 23 年 10 月
弘前市長 葛西 憲之